

売上げの一部を能登半島地震に寄付

内窓リフォームや浴室暖房など関心高く

旭建材・建材展示会



教賀 社長

旭建材(青森県上北郡、教賀一俊社長)は3月31日、野辺地中
央公民館(上北郡)を会場に建材展示会を開いた。工務店10社と
協力し、一般の来場者を対象にした需要喚起、地域住民との触れ
合いを目的としたイベントで、今回も会場駐車場が満車になる盛
況で、例年よりも多い173組、約360人が来場した。今回は
売上げの一部を能登半島地震の被災者に寄付する。

同社は上北地域の有力流通業者で、毎年3月
の最終日曜日に工務店、材木店と一般をつなぐことを目的に建材
展示会を開催。2006年から同会場で、そ
れ以前は同社倉庫で継
続してきた。コロナ禍で3年ほど中断し
たが、昨年からは再開し
た。タカラスタンダー
ドやシャパン建材など
を中心に寒冷地で快適
に暮らすためのキッ
チ



好評の網戸張り替え。この売上げの大部分を能登半島地震に寄付する

加え、能登半島地震の被災者に寄付すること
にしている。これを決
めたのは、一人親方の
大工が同地震発生直後
に10万円を寄付したこ
とを知ったためだ。

「この仕事をしている
ものとして、何かしな
ければならない」と強い
思いを持った(同)。

展示会では、現場で
の網戸張り替えや、タ
カラスタンダードが最
新のフローリングや
浴室暖房などを提
案。来場者からの関心
が高かったのは、今年
も実施されることにな
った環境省の先進的窓
リノベ事業などによる
内窓リフォームで、二
協アルミ社などが説明
した。

また住設展示とは開
係なく、卵焼きを上手
に焼くための料理教室
など地域住民が楽しめる
企画もあり、人だか
りができていた。

旭建材は、全体の売
上のうちおおむね建材
(工事含む)が6割、
木材4割となっており

東日本大震災時も地域
の状況を把握して、被
害の大きかった岩手県
野田村に救援物資を運
んでいる。

971年の設立当初か
ら顧客のニーズに応
え、板紙から段ボール
箱の製作や、印刷等を
手掛けてパッケージジ
ン、顧客の販促・物流
戦略を支援してきた。
グループ会社のゴウダ
物流を通して出荷先へ
の配送も行う。

建材加工部門は現場
での切断作業の手間を
省くためサイディング
材を現場で取りにプレ
カットし、外装材とス
チールフレームやサッ
シなどを組み合わせた
現場配送している。

外装プレカットは大手
住宅メーカーやビルダ
ー向けが主体で、今後
注が増え、壁や
床の地下材カットや断

ゴウダ(大阪府茨木市、合田真博社
長)は建材加工・施工や太陽光発電シ
ステム施工の大手だ。梱包資材メーカー
として発足し、社会のニーズに柔軟に
対応するなか、建材加工はじめ環境エ
ネルギー事業など、幅広く全国展開し
ている。今後は脱炭素社会への貢献に
向け環境エネルギー部門の強化を図
る方針だ。

同社はパッケージ・境エネルギー部門の4
商社部門、建材加工部 事業からなる。パッ
ケージ部門、外装施工部門、環 1シ・商社部門は、1



会社 探訪

971年の設立当初か
ら顧客のニーズに応
え、板紙から段ボール
箱の製作や、印刷等を
手掛けてパッケージジ
ン、顧客の販促・物流
戦略を支援してきた。
グループ会社のゴウダ
物流を通して出荷先へ
の配送も行う。

建材加工部門は現場
での切断作業の手間を
省くためサイディング
材を現場で取りにプレ
カットし、外装材とス
チールフレームやサッ
シなどを組み合わせた
現場配送している。

外装プレカットは大手
住宅メーカーやビルダ
ー向けが主体で、今後
注が増え、壁や
床の地下材カットや断

建材加工・施工から太陽光発電の施工へ

ゴウダ(大阪)

全国トップクラスの実績

熱材等の組み合わせも
行う。サイディング、
パーティクルボード、
合板、石膏ボード、A
LC、厚物コンクリー
トなどの素材を加工し
住宅部材を供給。加工
棟数は年間3万棟以上
に上る。

建材加工で培った実
績とノウハウをもとに
立ち上げたのが外装施
工部門。加工から施工
完了まで一貫して請け
負い、工期途中での計
画変更など柔軟に対応
している。サイディン
グ工事から始まり、屋
根、壁、防水など外壁
全般の工事を全国展開
している。工務店向け
を中心に特殊形状の部



材加工も自社工場に対
応し、一般住宅から商
業施設まで年間の施工
実績は約6500棟に
なる。協力会を設けて
専門の職人を800人
に擁する。

環境エネルギー部門
では、サイディングや
屋根などの
外装施工が
の流れて
太陽光発電
システムの
施工をFI
T制度開始
前の200
6年に業界
に先立って
立ち上げた
12事業所、30工場
の展開。大
手住宅メ
ーカーは
所・太陽光
を設置して
上高320億

1000人抱え、シェ
ア住宅メ
アーカー2
3割、大工・工務店
78割になる。

環境エネルギー部門
の向上やCO₂削減に
向けて、企業や工場から
大型太陽光発電のシ
ステムの受注が増え、年
間施工実績は4000
件。また、3年前から
蓄電池へのシフトを提
案し、家庭用電池やV
2H充放電器の提案等
に取り組んでいる。

大阪府茨木市
上郡2-13-14。全国
展開。大
手住宅メ
ーカーは
所・太陽光
を設置して
上高320億

アウトソーシング対応で体制強化

法制度関連セミナーで工務店支援

在任ビジネス(東京
都、馬込恭多社長)
は、来年に迫った4号
特別縮小や省エネ基準
適合義務化といった法
改正に工務店が対応し
準備できるような、業務
アウトソーシングの受
け皿となる体制整備
と、新制度等に関する
情報発信を強化してい
る。

制度改正や労働時間
制限などにより予想さ
れる業務負担を軽減す
る一手として、同社は
アウトソーシングを選
び、各種工事関連の仕
事が増えている。プレ
カットは地域にある工
事部門なども拡充
場に資材持ち込みの賃
加工で対応。戸建て住
宅需要が停滞するな
か、昨年の売上高は一
昨年並みとなっており

提案が基本だ。
同社は構造計算等を
手掛ける人員の増員を
続けている。人員は現
在、前年から10人ほど
拡充した。工務店だけ
でなく、代領申請業務
などを手掛けるサポー
ト企業のアウトソーシ
ング需要にも対応して
いきたい考えもある。
今年に入ってから
は、地盤関連のサポー
ト業務やウォールスタ
ットへの問い合わせも
増えている。特にウォ
ールスタットによる検
証は、工務店からの関
心が高まってきてい
る。

情報発信では現在、
建設業界を取り巻く2
024年問題に焦点を

ALSOKと業務提携締結

ヤマダホームズと業務提携締結

高崎市、清村
浩一社長)
は、ALSOK
(東京都、
相模原市、
長)と業務提
携契約を締結
した。同社住
宅に、ALS
OKのホーム
セキュリティ「H
OME ALSO
Connect」を搭
載する。ALS
OKは、ALS
OKのホーム
セキュリティ「H
OME ALSO
Connect」を搭
載する。ALS
OKは、ALS
OKのホーム
セキュリティ「H
OME ALSO
Connect」を搭
載する。

ヤマダホームズでの
取り扱いは、初期費
用の顧客負担ゼロ、月
額利用料990円(税
込み)の5年間無料、
ガードマン駆け付け依
頼の1回無料、各サ
ービスを付帯する。
ヤマダホームズが今
回の業務提携に動いた
背景として、政府統計
による犯罪認知件数が
増加傾向にあることや
住宅における侵入窃盗
の件数も多いため、住
宅の防犯対策強化の
重要性を考慮、ALS
OKのシステム導
入に至った。

今年にはオンライン開
催を主としており、地
方工務店も参加しやす
い。1月開催のセミナー
には100人超が参
加するなど、各セミナ
ーの活用が広がってい
る。

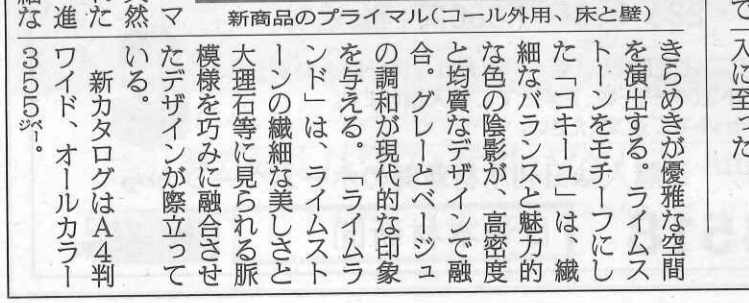
ヤマダホームズでの
取り扱いは、初期費
用の顧客負担ゼロ、月
額利用料990円(税
込み)の5年間無料、
ガードマン駆け付け依
頼の1回無料、各サ
ービスを付帯する。
ヤマダホームズが今
回の業務提携に動いた
背景として、政府統計
による犯罪認知件数が
増加傾向にあることや
住宅における侵入窃盗
の件数も多いため、住
宅の防犯対策強化の
重要性を考慮、ALS
OKのシステム導
入に至った。

住宅向けタイルの新カタログ

リビエラ

リビエラ(静岡市、
加藤久和社長)は3月
27日、住宅向けタイル
の総合カタログ「RI
VIERA TILE
COLLECTION
2024-2025」を発売し
た。今回は新商品シリ
ーズを含め全35シリ
ーズのタイルを掲載し
ている。

新商品では、天然石



新商品のプライマル(クール外用、床と壁)

さらめきが優雅な空間
を演出する。ライムス
トーンをモチーフにし
た「コキユ」は、織
細なバランスと魅力的
な色の陰影が、高密度
と均質なデザインで融
合。グレーとベージュ
の調和が現代的な印象
を与える。「ライムラ
ンド」は、ライムスト
ーンの繊細な美しさと
大理石等に見られる脈
模様を巧みに融合させ
たデザインが際立って
いる。

新カタログはA4判
ワイド、オールカラー
355頁。